

第5学年 社会科学習指導案

1 単元名 スゴいぞ！情報 ～便利な世の中、増える危険～

2 単元について

(1) 単元の目標

情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめ、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、放送、新聞などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解できるようにする。

情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめ、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解できるようにする。

(2) 単元についての考え

本単元では、情報を活用した取組を通して、情報化の進展と自分たちの生活との関わりについて学ぶ。放送などの情報産業で働く人々は、受け手である国民のニーズに合わせて、送り手として情報収集や選択をし、伝えるための工夫をしている。一次では、実際のテレビのニュースを用いて、子供たちがテレビ局で働く人々の工夫や努力を感じ取ることができるようにしたい。

二次ではくらしの情報通信機器の活用を通して、いろいろな産業が情報を生かして発展する様子をつかんでいく。その際、世の中が便利になる一方、子供たちが気を付けなければならないことにも気付くことができるようにしたい。

単元終末では、これから生きていく中での情報と私たちの生活の在り方を考える。昨今はスマートフォンなど情報を活用したものは生活の中で必要不可欠になっている。しかし、利便性の向上に対して様々な課題も山積している。これからの未来を担う子供たちの育成のために、「情報活用の危険性を理解したうえで、生活を豊かにするために情報を正しく扱うことができる」といった考え方をもてることが必要である。このように子供たちが前向きな単元の終末を迎えられるように、展開の仕方を工夫していく。

(3) 単元におけるE S Dの視点

私たちの生活は、情報を効果的に活用することで便利になり続けている。しかし、便利になった反面、たくさんある情報の見極め、SNSでの個人情報の流失、誹謗中傷など気を付けなければならないことも多い。これからの世の中を生きる子供たちにとって、情報とうまく付き合うことは必要不可欠である。本単元では、情報のメリットやデメリット両面を考えていくことにより、「情報の適切な利用を心掛ける気持ち」を醸成したい。そのことが「責任をもって、自分事として取り組む」、「身近なところから少しずつ取り組む」、「小さな積み重ねが、やがて大きな成果になる」のようなE S Dの視点を子供たちが味わうことにつながるからである。以上のようなことから、本単元におけるE S Dの視点を以下のように設定した。

○構成概念	：V連携性「力を合わせて」	VI責任性「責任を持って」
○能力・態度	：③多面的、総合的に考える力	⑥つながりを尊重する態度
○めざす姿	： <u>情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、情報の適切な見極めが必要であると理解するとともに、情報の適切な利用を心掛けることが、現在・将来の生活につながるという考えがもてる。</u>	

(4) めざす姿に迫るための手立て

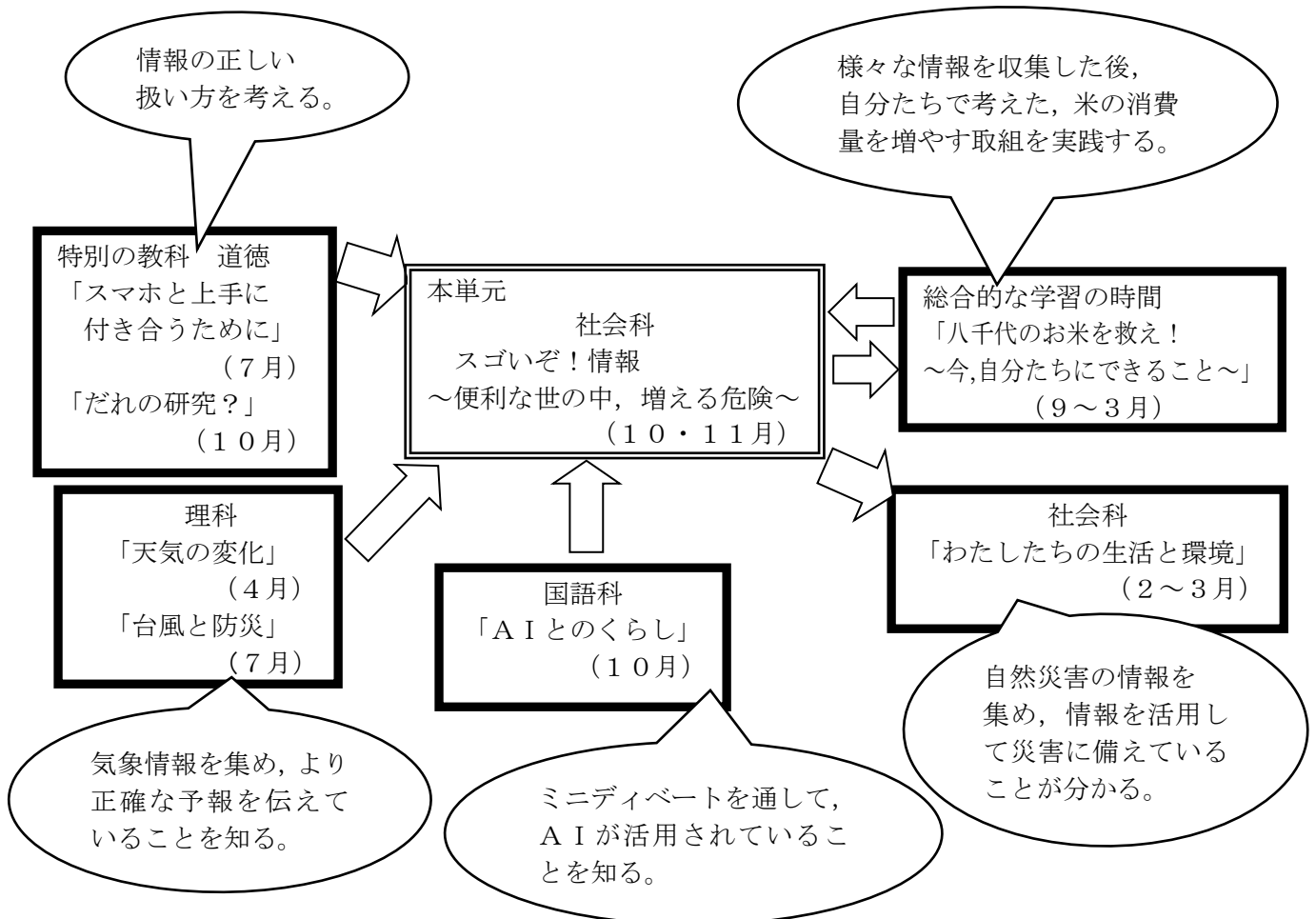
めざす姿に近づくための学習問題づくりの工夫

- ニュース番組が少しずつ内容を変えながら、一日に何度も放送されている事実を提示することで、驚きを生み、子供たちの問題意識を高める。
- 子供たちの身近にある回転寿司チェーン「くら寿司」のレーンにたくさんの寿司が流れるのに、廃棄率が低いという事実を提示することで、驚きを生み、子供たちの問題意識を高める。

めざす姿に近づくためのまとめる展開の工夫

- まとめる場面で、過去に起きた報道被害を取り上げることで、自分たちも情報の受け手として全ての情報を鵜呑みにすることなく、取捨選択して考えることができるようにする。
- くら寿司の情報活用を多角的な視点で見ること、消費者としてどんな気を付けて情報活用すべきか考えることができるようにする。
- くら寿司のお寿司のロコミサイトの情報を自分なら信じるか、信じないか考えることを通して、これからの自身の情報の活用のあり方を考えることができる。
- ロコミサイトのメリット・デメリットを思考ツールを使って整理することで、情報化の進展による利便性が向上していることと適切な情報を見極める必要があることをつかめるようにする。
- 本単元で学んだメディアリテラシーを活用することで、総合的な学習の時間の単元である「八千代のお米を救え！～今、自分たちにできること～」の情報の収集ができるようにする。

3 本単元と他教科との関連



4 観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①テレビ局で働く人々の情報を集め発信するまでの工夫や努力などについて聞き取り調査をしたり、映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、テレビ局の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを図表や文などにまとめ、テレビ局は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解している。</p> <p>③情報の種類、情報の活用の仕方などについて、聞き取り調査をしたり、映像や新聞などの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、産業における情報活用の現状を理解している。</p> <p>④調べたことを図表や文などにまとめ、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を進展させ、国民生活を向上させていることを理解している。</p> <p>⑤情報の種類、情報の活用の仕方などについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用の仕方を理解している。</p> <p>⑥調べたことを図表や文などにまとめ、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極める必要があることを理解している。</p>	<p>①様々なメディアの特徴を根拠に、国民生活におけるメディアの使い方を考え表現している。</p> <p>②テレビ局で働く人々の情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、問いを見出し、テレビ局の様子について考え表現している。</p> <p>③放送局から発信される情報と自分たちの生活に関連付けて、放送の産業が国民生活に果たす役割を考えたり、学習したことを基に情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え、受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えたりして表現している。</p> <p>④情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、問いを見出し、産業における情報活用の現状について考え表現している。</p> <p>⑤情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、学習したことを基に産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考え表現している。</p> <p>⑥学習してきたことを総合して、情報活用のあり方について考え、表現している。</p>	<p>①テレビ局と情報との関わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことをもとに情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え、受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えようとしている。</p> <p>③大量の情報や情報通信技術の活用について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>④学習したことをもとに産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考えようとしている。</p> <p>⑤情報活用のあり方について、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>⑥情報の活用のあり方に関心をもち、学んだことをこれから自分の生活に生かそうとしている。</p>

5 単元の全体計画（全14時間）

学習過程 (時数)	・指導上のポイント	■評価規準	・資料 ○思考ツール
<p>つかむ 事象観察 (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報とは、何かを考えることができるようにする。 ・メディアには、新聞やラジオ、インターネット、雑誌、テレビなどがあることを理解できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>情報には、どんな特徴があるのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・誰が、何を、どんな内容で、誰にどんな方法でという観点で特徴をまとめるようにする。 ・情報とは伝えたい人が得意な方法や技術で、情報がほしい人に伝えるものだとすることを理解できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>情報とは、伝えたい人が得意な方法や技術で、情報がほしい人に伝えるものである。情報は一方的に伝えるものではなく、情報がほしい人のニーズに合わせて伝えることから、双方向である。</p> </div>	<p>■思考・判断・表現①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
<p>つかむ 事象観察 問題構成 (2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース番組が少しずつ内容を変えながら、一日に何度も放送されている事実を提示することで、驚きを生み、子供たちの問題意識を高める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>テレビ局が内容の違うニュース番組を一日に何回も放送するのはなぜか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールなどを選びながら予想が書けるようにする。 ・予想を全体で話し合った後、次時で自分が調べることを決め、ノートに書けるようにする。 	<p>■思考・判断・表現②</p> <p>■主体的に学習に取り組む態度①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝と夕方のニュース番組の映像と写真 ・タブレット <p>○今まで学んだ思考ツール（ウェビング・クラゲチャートなど）</p>
<p>調べる 自力解決 (3・4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が違うニュース番組を一日に何回も放送するのはなぜかを自分の予想に沿って、調べることができるようにする。 ・思考ツールなどを選びながらまとめていけるようにする。 <p>【ニュースができるまで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場で正確な情報を集める ・どの情報を伝えるか選ぶ ・内容がより伝わる映像を選び、文字や図を入れる ・事前に原稿を確認して、分かりやすく伝わるよう読む速度や発音に気を配る。 	<p>■知識・技能①（3）</p> <p>■知識・技能②（4）</p> <p>■主体的に学習に取り組む態度①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・資料集 <p>○今まで学んだ思考ツール（YVWXチャート、ベン図など）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴者のニーズに合わせて番組を作成している。 ・自分の調べることが終わったら、発表資料作りができるようにする。 		
まとめる 比較 整序 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が違うニュース番組を一日に何回も放送するのは、視聴者のニーズに合わせて、正確に分かりやすく伝えたいというテレビ局の強い責任感があることを押さえる。 ・視聴者のニーズに基づいて、放送局が工夫や努力をしていることを矢印を使って視覚的に分かるようにする。 ・誤報の資料から、情報の受け手として全ての情報を鵜呑みにしないと考えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■思考・判断・表現③ ■主体的に学習に取り組む態度② 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が作成した発表資料 <p>○矢印</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤報の資料
	<p>内容が違うニュース番組を一日に何回も放送するのは、視聴者のニーズに合わせて、正確に分かりやすく伝えたいという放送局の思いがあるからである。</p>		
つかむ 事象観察 問題構成 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ・くら寿司の入り口にある自動案内機の画面に指をかざすだけで、人数入力ができ、機械が自動で座席に案内することに気付くことができるようにする。 ・くら寿司は品数が多く、レーンで回る寿司の割合も多いと理解できるようにする。 ・新鮮さを守るため、寿司がレーンに流れる時間が決められ、一定の時間が過ぎると自動的に捨てられることを押さえる。 ・くら寿司は品数も多く、たくさんの寿司がレーンに流れているのに、廃棄される寿司は100皿のうち、3皿のみだということに疑問をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■思考・判断・表現④ 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のフードロスの掲示 ・タブレット ・自動案内機の写真 ・くら寿司の品数 ・レーンとタッチパネル、鮮度くんの写真 ・タッチパネルとレーンに流れる寿司の量の割合 ・くら寿司の廃棄率
	<p>くら寿司は、160種類も品数があり、たくさんの寿司がレーンに流れているのに捨てられる数が少ないのはなぜか。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールなどを選びながら予想が書けるようにする。 ・予想を全体で話し合った後、次時で自分が調べることを決め、ノートに書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■主体的に学習に取り組む態度③ 	<p>○今まで学んだ思考ツール(ウェビング・クラゲチャートなど)</p>
調べる 自力解決 (7・8)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の予想に沿って、調べることができるようにする。 ・製造管理システムや時間制限管理 	<ul style="list-style-type: none"> ■知識・技能③(7) ■知識・技能④(8) ■主体的に学習に取り組む態度③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自作調べ資料

	<p>システムなど、くら寿司が情報を利用して発展している様子を調べることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールなどを選びながらまとめていけるようにする。 ・自分の調べることが終わったら、発表資料作りができるようにする。 		<p>○今まで学んだ思考ツール (YVWXチャート, ベン図など)</p>
<p>まとめる 比較 整序 (9)</p>	<p>【製造管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注文用タッチパネルや「鮮度くん」(ウイルスなどから寿司を守るカバー)についているQRコード(ICチップ)から過去の注文履歴や販売データなどを大量に蓄積している。 ・客が自動案内機に入力すると、来店した客層や人数, 大量の蓄積データなど複数の情報をもとに, どの寿司をどれくらい作ればよいかコンピュータが予測してくれる。 <p>【時間制限管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鮮度くん」についているQRコード(ICチップ)によって, レーン上にある寿司の種類と量を管理している。 ・ベン図を使うことで, 製造管理システム, 時間制限管理システム共に, 情報を活用し, 人々の暮らしを豊かにしたり, フードロスが減らしたりしていると気付けるようにする。 ・大雨で客が全然来ないなど, コンピュータが予測できない事態が起こるときもあると確認する。 ・システムで対応できないときは人の力も必要であることに気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■思考・判断・表現⑤ ■主体的に学習に取り組む態度④ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が作成した発表資料 <p>○ベン図</p> <p>・システムで対応できない場合の例</p>
	<p>くら寿司で捨てられる寿司が少ないのは, コンピュータが来店した客層や人数, 過去の商品売り上げデータなどをもとに, どの寿司をどれくらい作ればよいか正確に予測してくれたり, QRコードでレーン上にある寿司の種類と量を正確に管理したりしているからだ。情報が私たちの生活をより豊かにしている。</p>		
<p>つかむ 事象観察 (10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット利用時に困ったことを想起できるようにする。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>インターネット (の情報) を使う上でどんなことに気を付けたらよいだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の「受け手」, 「送り手」としてどんなことに気を付けるべきか自分の考えをまとめることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> □主体的に学習に取り組む態度⑤ 	<p>○ベン図</p>

	<p>情報は便利だけれど、怖い一面もある。インターネット利用時は、情報の受け手として必要な情報が見極めたい。また、送り手として人を傷つけることを書き込むことをしないようにしたい。</p>		
<p>いかす 発展 (11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を振り返ることができるようにする。 ・口コミサイトの仕組みを押さえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「極み熟成 中とろ(一貫) 110円 くら寿司のホームページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脂の乗りがよいところを厳選した、くら寿司の人気商品。通常220円のところ、キャンペーン期間中は半額の“110円”で販売する。 ・とろけるうまさ、脂乗りがよい極上部位のみ使用している。 <p>口コミサイト情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期待して食べたけれど、大とろがあまりとろけず、私は残念。安くなっている一貫で110円は高い。私はもう注文しない。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・既習の掲示物 ・口コミサイトの仕組み ・くら寿司のHP ・くら寿司の口コミ
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>自分なら、くら寿司の口コミサイトの情報を信じるか、信じないか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分事として捉えるために「自分ならどうするか」と視点を立てる。 ・既習を振り返らせ、なぜそう考えたか自分の考えをまとめることができるようにする。 	<p>■思考・判断・表現⑥</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・名前マグネット ○スケール
<p>調べる 自力解決 (12・13)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口コミサイトのメリットとデメリットを調べ、その上で自分の立場を再度決めるようにする。 ・自分の調べることが終わったら、発表資料作りができるようにする。 	<p>■知識・技能⑤(12) ■知識・技能⑥(13) ■主体的に学習に取り組む態度⑤</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット ○メリット・デメリット チャート
<p>いかす 発展 (14)</p> <p>14/14 滝沢学級</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを班や全体に発表できるようにする。 ・もう一度自分の考えを書くことができるようにする。 ・授業を振り返って考えたことをノートに書くことができるようにする。 	<p>■思考・判断・表現⑥ ■主体的に学習に取り組む態度⑥</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の掲示物 ・口コミサイトの仕組み ・くら寿司のHP ・くら寿司の口コミ ・名前マグネット ○スケール ・子供が作成した発表資料 ・口コミサイトの信ぴょう性の資料

6 本時の指導（14／14） いかず[発展]

(1) 目標

くら寿司のお寿司のロコミサイトの情報を自分なら信じるか、信じないか考えることを通して、これからの自身の情報の活用のあり方を考えることができる。

(2) 評価規準

〈思考・判断・表現〉 ロコミサイトの情報を信じるか、信じないか既習を生かして考えている。

〈主体的に学習に取り組む態度〉 情報の活用のあり方に関心を持ち、学んだことをこれからの自分の生活に生かそうとしている。

(3) 展開

時配	学習活動と内容	□指導上の留意点 ■評価(評価方法)	・資料 ○思考ツール
3	1 学習問題の確認をする。	□黒板に名前マグネットを貼らせ、自分の立場を明確にさせる。 □前時に考えた自分の考えを確認させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の掲示物 ・ロコミサイトの仕組み ・くら寿司のHP ・くら寿司のロコミ ・名前マグネット ○スケール ・子供が作成した発表資料 ・ロコミサイト信ぴょう性の資料
	自分なら、くら寿司のロコミサイトの情報を信じるか、信じないか。		
15	2 自分の考えをもとに、グループで交流し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ロコミサイトの情報を見たら、よい商品がどうか分かり、購入するかどうかの判断に役立つから、信じる。 ・信じる情報と信じない情報を自分が選べば、信じてもよいと思う。 ・家族もネットのロコミを参考にして商品を購入しているよ。 ・同じ消費者目線での考えだから、お店(生産者視点)のHPより信じられる。 ・食べ物の好みは人それぞれだし、自分で買って判断したほうがよい。 ・ネットに載っている情報は全てが正しいと限らないと学んだので、自分が購入してから判断すべきだ。 ・ネットは誰でも書き込めるから、信じられない。 ・ロコミは個人の感想なので、信じない。以前ロコミがよくて購入したら失敗した経験がある。 ・ライバル商品をわざと評価を低く書くことだって可能。(その逆も可能) 	<ul style="list-style-type: none"> □最初は生活班で話し合い、その後班のメンバーを入れ替えて再度話し合いができるようにする。 □何のために話し合い、どんな結論を出せばよい確認する。 □「迷う」や「ロコミサイトを参考程度にする」という考えも認めるようにする。その際、「なぜ迷うのか」や「どの場合は信じて、どの場合は信じられないのか」、「どの程度参考にするのか」も合わせて考えられるようにする。 □前時まで、どちらかの立場に意見が偏っているようなら、グループで話し合うのではなく、全体で考えを共有したり、教師が葛藤を生む資料を提示したりすることで子供の考えが深まるようにする。 	
15	3 全体で自分の意見を発表し合い、その後もう一度自分の考え(立場と理由)をノートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> □自分の立場が変わった児童がいたら、なぜ変えたか理由を聞くようにする。 ■ロコミサイトの情報を信じるか、信じないか既習を生かして考えている。 (ノート・発言) 	

1 2	<p>4 授業を振り返って、自分なら口コミサイトをどのように活用するか考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての情報を信じるのではなく、よく考えて行動したいと思った。 ・情報って便利だけれど、怖い一面もあるから、日頃または将来、情報の怖さを意識して過ごしたい。 ・購入するときは全て口コミサイトの評価で判断しないで、家の人の意見も聞いて判断したい。 	<p>■情報の活用のあり方に関心を持ち、学んだことをこれからの自分の生活に生かそうとしている。(ノート)</p>	
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	--

(4) 板書計画

